

山行報告書

(2014.03.26改訂)

日時	2015年1月17日(土)～1月18日(日)		
山名	臥龍山(広島県) 1223.4M		
CL	吉永	参加者	花田(SL)・秋山(SA)・大久保・吉田・大須賀・高田 (7)名
(コース)	1/17(土) 大名8:00＝都市高天神北＝戸河内IC＝八幡原公園15:00(幕営) 1/18(日) 幕営地9:40・・・千町原登山口10:10・・・ウマゴヤ谷ルート・・・ 林道終点(雪霊水)12:00・・・臥龍山頂上12:40着 13:10発・・・△954・・・ 千町原登山口15:00・・・幕営地着15:20 16:30発＝21:00天神着		
(コメント)	<p>1/17 定刻通り出発。現地の天気予報は雪・最高気温4℃(翌日は晴れ・10℃)最高の冬山が楽しめる予感がしました。吉和SAで昼食と雪洞作りの服装の準備、戸河内ICを降りて食材調達、途中 吉永会長が酒蔵で美酒を買い求めるとのことでしたが、生憎 店は開いているものの店主は不在、しかし会長は「明日帰りに料金を支払います」とメモを残し一升瓶を片手に店を出るとのこと、内心大丈夫かな?と思いました。その後 道中はかなりの積雪でしたが花田さんの巧みな運転で無事幕営地に到着しました。現地はかなりの積雪、吉永会長の目利きで建物の陰で風雪の影響が少なく、2mは積雪があると思われる場所で テント2幕設営と雪洞作りをしました。諸先輩方のご指導を仰ぎ、雪洞作りに経験が少ない人で協力して大汗を掻き 約2時間をかけ広さ2畳ほどの雪洞が無事出来上がりました。17時より雪洞は宴会場となり、大須賀さんのほかほかで大変美味しいおでんと美酒「三段峡」、盛り沢山の野菜と肉が入ったお鍋を囲み、雪洞の温かさ、ランタンのともしび、天井から時折落ちてくる雫、最高の雪洞体験を味わいました。その後2次会はテントに移され、夜遅くまで大宴会は続いたのです。</p> <p>1/18 7:30 一晩中、テントがハタともせず静かな夜で、少し遅い起床となりました。 9:40 幕営地を出発。まずは両手にストックとワカン装着しての歩行訓練をしました。 天気は快晴、無風で暖かく、辺り一面キラキラ輝く銀世界の中で初めてワカンで歩く感触を楽しみました。しかし だんだん慣れてくるに従って歩き方が横着になり、ストックをワカンを引っ掛け躓いたりしました。前後の間隔を少し開けて歩かなければならないことを学びました。 12:00 脈々と流れる雪霊水で喉を潤し一服、そこから頂上までピッケルとアイゼンに付け替えての歩行訓練をしました。12:40無事頂上着 簡単な昼食、記念撮影、ワカンへの履き替えを済まし下山準備。帰りは花田SLのトップで登りとは違うルートを下山。トレースはあったもののハッキリとした目印はなく、読図の大切さを痛感しました。15:20分無事下山、最後のテント撤収まで今回は一致協力した達成感に包まれ、大変貴重で楽しい冬山訓練を経験させて頂きました。(記 高田) P.S 帰りに酒蔵から無事会長が車に戻れた時は、まだまだ良き日本が残っているんだと感じました。</p>		
費用概算 (交通費)	約11,000円/人 (レンタカー代10人乗りワゴン スタッドレスタイヤ込、高速代、ガソリン代、食費)		



↑ 雪洞内の宴会



↑ 臥龍山山頂にて